産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立　備前緑陽　高等学校 岡山県立　和気閑谷　高等学校
実践場面	備前市企業見学バスツアー
実践日時（時期）	令和５年 12 月 20 日（水）、21 日（木）
対象生徒（学年）	１、２年生希望者
連携の形態	□包括連携協定（　　） ■その他（　備前商工会議所からの案内　）
学びの分類	□講演会講師・説明会　□技術指導　■企業訪問・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ □商品開発・共同研究　□最新技術・設備の見学　□その他

実践の内容

【現状】

・備前地区は東備地域有数の工業地として、県下でも高い工業出荷額を誇り、知名度の高い企業、地域に密着した地場の企業も多くある。

・製造業は工場内作業が中心のため一般の人に触れる機会が少ない。また、その製造業に派生する運送業や機械設備業なども、その内容が一般の人になかなか伝わらない。

・生徒が直接企業の現場を見学し、関心を深めることは、生きたキャリア教育として非常に有効であると考えられる。

【実践内容】

・地域活性化事業の一環として、地場産業の魅力や特色を知って就職を考える際に生かしてもらうため、地元の高校１、２年生を対象とした備前市内の企業見学バスツアーを備前商工会議所が今回初めて企画し、備前緑陽高校と和気閑谷高校へ案内した。

・学校側は、案内チラシ（画像）を対象生徒へ配付したり、教室掲示したりするなどして案内し、参加を希望する生徒は各自で商工会議所へ申し込みをした。

・耐火物、産業機械、医薬品など製造業を中心に、物流業や信用金庫の計８事業所を対象として、１日に４事業所を見学する行程（１社あたりの見学時間は１時間半）となっており、２校の生徒計 31 名が、それぞれ希望する日程へ参加した。

・各社での事業内容や福利厚生制度の説明を聞いたり、実際に製造工程などを見て回ったりして企業への関心を深めたのはもちろんのこと、１日目は見学企業の社員食堂のメニューを昼食として味わうなどの体験もあった。

実践による効果等

・生徒から「地域とのつながりを大切にしながら、世界にも貢献している会社があることを知った。就職先は、人の役に立つ、人の力になれる仕事ができるかを大切に選びたい。」といった感想が得られるなど、有意義な企業見学となった。

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）